

ハートふる LETTER



新年度に向けてのご挨拶



東京蒲田病院 院長 小山 豊

新型コロナに翻弄された3年がすぎ、ようやく落ち着いたかに思える令和5年の春を迎えました。当院でも昨年末から今年初めにかけては多くの新型コロナ患者さんをお受け入れしましたが、現在はコロナ渦以前の診療体制に戻りつつあります。そして今、まさに当院の役割を再構築するタイミングとも考えています。

これまでも当院は循環器科をメインとして整形外科、内科糖尿病科、泌尿器科、透析科を主な診療科とし、加えて救急医療に積極的に取り組んでまいりました。

当院の循環器科は理事長の井上と私が心臓カテーテル分野の学会で知り合ったことが始まりです。同門でもなく、同じ病院で働いたこともありませんが、学会を通じて幾度となく議論を重ねるうちに、自然と診療理念が合致していることをお互い感じとったことが現在につながっています。そこからこの病院で心臓カテーテル医療を中心として、最先端の循環器疾患診療を根付かせていきたいと邁進してまいりました。本業の冠動脈カテーテル治療はもちろんのこと、新浪教授率いる非常に優秀な東京女子医大心臓外科手術チームが5年前に加わったことで冠動脈疾患治療の幅が広がりました。待機手術での術後死亡ゼロ・合併症ゼロを今日まで継続しています。冠動脈疾患以外にも不整脈専門医が3年前に赴任し、カテーテルアブレーションを精力的に行っています。上室性頻拍症はもちろん、心房細動のカテーテルアブレーションも高成功率、低再発率の成績を収めています。7月からはさらにもう1名の心臓カテーテルに熟練した循環器専門医が入職し、常勤医8名体制でさらに発展させてゆく所存です。

整形外科も地域のお役に立てるであろう非常に重要な診療科と考えています。これまでも冨澤医師が救急患者さんの受け入れ、緊急対応の必要な外傷や高齢者の圧迫骨折など幅広い診療を行ってまいりました。そしてこの春、脊椎整形の専門医の米澤医師が常勤として加わりました。診療経験豊富な脊椎のエキスパートですので、今後さらに整形外科領域においてもより幅広く皆様に貢献できればと期待しています。



②

そして今後の地域医療の最大の焦点と言えば高齢者医療です。当院には地域包括ケア病床が26床あります。この病床の特徴は一般病床よりもリハビリテーションが時間的に優遇されている点です。どの病院でもご入院される患者さんは高齢者が多くなってきていますが、入院中にADLが低下するのが大きな問題です。地域包括ケア病床ではADL向上のためにリハビリテーションの機会を増やし、自宅（あるいは施設）復帰までお過ごしいただければと思っております。当院での地域包括ケア病床へのお受け入れは肺炎、骨折、心不全が3大疾患です。このような疾患で治療とともに適切な早期のリハビリテーション介入が必要な患者さんには地域包括ケア病床が最適です。当院ではより多くのご高齢患者さんをお受け入れし、すこしでもADLを下げずご満足してお帰りいただけるようより一層努めてまいります。

各科外来のご案内

循環器内科	月	火	水	木	金	土
午前	当番制	山岸 不破 宇都宮	籾 村松(第2・4) 塚原(第1・3・5)	井上 真壁	小山 真壁	山岸
午後	小山	籾	小山 籾	不破	当番制	—

整形外科	月	火	水	木	金	土
午前	富澤	富澤	栗本	/	—	富澤 (第1~3) 米澤 (第4のみ)
午後	富澤	米澤	米澤 栗本	/	富澤	—

心血管外科	月	火	水	木	金	土
午前	/	/	/	/	/	奥木(第1・3)
午後	奥木	/	/	/	/	—

泌尿器科	月	火	水	木	金	土
午前	桑原	桑原	桑原	桑原	—	桑原
午後	桑原	桑原	—	桑原	—	—

内科	月	火	水	木	金	土
午前	鈴木 鳥越(糖代謝)	/	松瀬 (呼吸器)	平田 (腎臓内科)	鳥越 (糖代謝)	日高(第2・4・5) 吉田(消化器内科)
午後	鈴木	鳥越 (糖代謝)	鈴木	日高 澤田(糖代謝/ 第1・3)	鈴木 高木(呼吸器)	—



医療法人 森と海 東京

東京蒲田病院

〒144-0051 大田区西蒲田7-10-1

・緊急や外来受診・予約▶▶

【患者連携室】03-6892-2834

・レスパイト・転院相談▶▶

【患者支援室】03-6892-2812

・時間外・夜間▶▶

【病院代表】03-3733-0525



最寄り駅

- ・JR蒲田駅 徒歩6分
- ・東急蒲田駅 徒歩6分
- ・蓮沼駅 徒歩4分

最寄りのバス停

蒲田西口 東急バス
バス停『大田都税事務所』下車1分